



高木たけし



みよし剛史

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

予算特別委員会報告

約130億円の補正予算

ため込み金に

積み立て23億円

生活困窮世帯へ

一世帯7万円支給

12月議会での予算特別委員会では、1次分と2次分合わせて約130億円の補正予算による施策が審議され、可決されました。

福祉施設への応援金、学校給食の高騰分の補填、中小事業者のLPガス代の補助など、多くの物価高騰に対応する支援策が講じられており、福山市議団は2次分については賛成しました。しかし、1次分については、約23億円という多額の財政調整基金への積立が含まれていたため、基金へのため込みよりも、さらに活用することが必要な局面であることから反対しました。

付を検討しているため、国の予算が成立したのち、年度内の支給を目指して準備が進められています。

経済的困難の家庭

学習支援が拡充

福山市ネウボラは、ひとり親家庭の中学生に対して、月4回程度の学習支援を行っていました。今回の補正予算において、事業内容の大幅な拡充を行いました。

対象を高校生と生活困難世帯にも広げ、期間は9月開始だったものが4月からの通

年に、長期休業中は週3回利用可能に、軽食も提供するという内容に改めます。

市は高校生も対象としたことについて、大学受験にチャレンジする機会にもつなげていくことが目的であると説明しています。

みよし市議は予算委員会において、この事業と合わせて大学進学に係る費用への支援策の拡充と、ひとり親家庭・生活困窮家庭の子どもたちへの継続的な伴走支援をネウボラとして行うよう求めました。

【12月補正予算での主な支援策】

住民税非課税世帯への給付金	43億円
(均等割のみ課税世帯への対応分含む)	
中小企業LPガス料金高騰対策	9550万円
中小企業CO2排出管理システム補助	1250万円
中小企業生産性向上システム導入補助	2億5500万円
省エネ家電買替支援	2億4800万円
介護・障がい福祉・私立保育施設応援金(電力対応)	計2億5600万円
介護・障がい福祉・私立保育施設の食材費補助	計1億400万円
学校給食材料費高騰への対応	4700万円
漁業・農業・交通事業者の燃油高騰分補助	計1400万円

次年度国保1万8000円値上げ!? 「準統一化」で大幅負担増か

2018年度から国保の財政運営を広島県が一括する「県単位化」が強行され、6年間の激変緩和措置期間を経て、次年度から国保(料)の県内同水準化に向けた「準統一」が行われる予定となっています。

独自の負担軽減

県統一では?

福山市では今年度も一人当たりの国保税額が6378円という、この10年間で最も大幅な引き上げが行われていますが、「準統一」となると県の示す標準保険料率に合わせなければならぬため、さらに大幅な引き上げが予測されていました。

かつてない 値上げの危機 「払える国保」に

現在、改定に向けた作業が進められているところでしたが、市年金保険課への聞き取り調査によると、県から標準保険料率が示されており、それによる市の仮算定では、一